

令和4年第1回

湯梨浜町総合教育会議

会 議 録

令和4年度第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

日 時 令和4年10月25日(火) 15時30分～16時30分
場 所 湯梨浜町役場 第3会議室
出 席 者 宮脇町長、山田教育長、市橋委員、藏本委員
説明の為出席した者 山田教育総務課長、池田生涯学習・人権推進課長、吉野教育総務課参事兼学校給食センター所長、尾川生涯学習・人権推進課文化財担当参事、宮脇中央公民館長、尾崎教育総務課長補佐、中村指導主事、松本指導主事

1. 開 会

2. 町長挨拶

3. 会議録署名委員の指名

4. 議 題

- ①湯梨浜町の文化財行政について【生涯学習・人権推進課】

5. その他

6. 閉 会

令和4年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
教総課長	令和4年度第1回湯梨浜町総合教育会議を開会します。最初に町長のご挨拶をお願いします。
町長	本日は文化財行政についてということで、教育委員の皆さんのご意見を伺いながら適切に対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
教総課長	次に会議録署名委員ですが、市橋委員と藏本委員をお願いします。それでは、今後は町長の方で議事を進めていただきたいと思っております。
町長	それでは、湯梨浜町の文化財行政について説明をお願いします。
尾川参事	(資料にもとづき、湯梨浜町の文化財行政について説明)
町長	それぞれの文化財を点から線にして活用するといった動きが必要とのことですが、例えば羽衣石城で言えば、全体的にどういった形でどのような整備や保存を行っていくのか、また、そのことが本当に観光に結びつくのか、現段階では分かりません。このためには体制の整備が必要だと言われる気持ちも分かりますが、例えば馬ノ山の4号墳周辺の木を切ってよく見えるようになったとのことですが、そのときに観光やウォーキングなどの関係部署に情報提供や呼び掛けをされたでしょうか。そういったことがあまりなされていないので、今回提案のあったことのようなことが、本当にできるかどうか疑問に思います。2019年に開催した歴史講演会に来られた先生方とは「次に開催するときは国史跡が取れたときですね」とお話し、それは町の目的を達成することや住民の機運を高めるためにも必要なことですが、国史跡を取った後にやることをある程度見越しておかないと、取った方がいいが活用が難しいといったようなことにならないか懸念しています。
市橋委員	例えば、馬ノ山古墳や北山古墳は国の史跡となっていますが、現状を見ますと本当にそうなのかなといった状況です。国史跡を取っても、年数が経って、だんだんこういった状況にならないような文化財行政を行っていただきたいと思っております。
藏本委員	文化財の普及啓発というのは随分前から言われていて、歴代の文化財担当者が何よりも先に考える課題ですが、担当者によって取組の具合が違って、なかなかうまく進まないといったことがあります。文化財を保護したり、いろんな報告書を作ったり、小中学生に話をしたりという部分と、観光協会や商工会と連携しながら情報発信をしたりする部分とは、私は分けて考えた方がいいと思っております。そうでないと荷が重く、また、前回の教育委員会でも観光課があれ

発言者	内 容
	<p>ばというご意見もありましたが、観光に関することは観光の部署にシフトした方がいいと思います。NHKのニュースだったと思いますが、米子城跡から望むダイヤモンド大山の様子が毎日のように流れていて、前は1,000人くらいが集まったとのこと。もしかして米子市長は米子城課といったような部署を作るのではないかと考えているくらいで、そういった部分と城そのものを保護する部分とは、別に考えた方がいいような気がしています。今、商工会でも文化財歴史ルートなどに取り組んでおられるようですし、観光の分野はそういった機関に任せ方がいいように思います。</p>
町長	<p>今回、文化遺産カードの作成についての提案もありましたが、他の城のカード見ると城の全体像が分かりますね。こういったカードを作ることができれば、ウォーキングのときに配ったりできますし、分かりやすいです。基本的には国史跡となればしっかりと検討しなければならなりません。観光サイドや商工会にもっと情報を流し、例えばこういったことが考えられるといったように、今ある素材を磨く習慣をつけていただき、そういった積み重ねをしっかりとやっていただきたいと思います。</p>
尾川参事	<p>文化財を磨き上げるのは、文化財担当者の仕事ですが、それを活用するのは観光の仕事だと思います。</p>
町長	<p>観光サイドにも文化財の価値をしっかりと理解していただき、活用方法なども伝えていただきたいと思います。</p>
尾川参事	<p>そうですね。まだそういった連携が不十分だと感じています。</p>
町長	<p>住民に知っていただくのはもちろんですが、職員にもきちんと知ってもらわないといけません。</p>
尾川参事	<p>学校からの文化財の講演依頼も増えてきていますし、各団体への声掛けも行っています。こういった活動に加え観光にまでとなると、そこまでの余裕がないのが現状です。来年度は、今ある業務のほかに「羽衣石城跡及び付城群総合調査報告書」を作成しなければなりません。専門の委員さんに、今後の体制をどうするかについて聞いてみましたが、担当者一人だけで向かうところはないとのこと。私も初めての経験で、どこまでのボリュームがあるのかといったことも見えてこないのですが、この報告書は片手間でできるようなものではありません。</p>
町長	<p>今の業務の省力化を図って現体制でできないか、あるいは人をつけてやるか、よく検討していただきたいと思います。</p>

発言者	内 容
市橋委員	この報告書の8割程度は教育委員会が作成しなければならないようですし、今の業務に加え全て担当者だけでやっていくのは、かなり厳しいと思います。先ほどご意見がありましたように、観光の分野は観光の部署に任じた方がいいと思います。国史跡に向けた組織体制やメンバーについては、どのように考えられていますか。
尾川参事	今後は、国史跡に向け地権者の同意が必要となり、その交渉や事務手続きなどかなりボリュームがありますし、文献調査も本格的に行っていくこととなりますので、これに掛かりっきりになると思います。また、これに併せて行っている発掘調査や学校への文化財の講演などは、今は主に本課の主事が担当していきまして、文化財の振興に関する業務は私とこの主事の二人体制で行っていますが、社会教育係も兼務していますので青少年関係の事業、さらにこの主事は社会教育主事の資格を持っていますので生涯学習全般の事業も行う必要があります。文化財についても、橋津藩倉や岡本邸の取扱いなどもあり、今後は業務が増える見込みです。
教育長	国史跡に向けたメンバーも誰でもよいというわけにはいかなく、現在適任者を探しているところですが、なかなか見つからない状況です。
尾川参事	県文化財課とか埋文センターとかに適任者がいないか聞いていますが、現段階ではいないと聞いています。
町長	基本的には、今の業務を減らして国史跡に向けた方向で取り組んでもらいたいと思いますが、本当にどのくらいの人員が必要なのか検討する必要があります。長瀬高浜遺跡のときは、埋文センターとかが報告書を作成したのでしょうか。
藏本委員	たしか大元のところは教育文化財団だったと思いますが、基本的には町で調査し、作成したのではないかと思います。
町長	どういった体制がよいのか、具体的に検討してみてください。
藏本委員	少し話は変わりますが、先ほどの尾川参事の説明で、文化財がなかなか町民に浸透しないとお話がありました。尾崎家住宅の修繕状況の公開のときでも、来られたのは30人くらいでした。文化財の担当者からしてみると、抽選しなければならないくらい人が来るのではないかという気持ちですが、住民の皆さんにとっては、重要文化財だからといってそれがどの程度のものなのか、担当者と住民の文化財に対する認識は大きく乖離しています。では、住民の皆さんに来ていただくためにはどうすればよいかですが、学校の授業で学ん

発言者	内 容
	<p>だから行くかといったら、おそらく大半の方は行かれないと思います。何か楽しいこと、面白いこと、あるいはおいしいものとかがあれば行こうと思われるのではないかと思います。歴史の学習だけでは、なかなか一般の方は行かれないと思います。例えば尾崎家住宅の見学会であれば、山陰柴犬との触れ合えるコーナーとか、何か楽しいこととセットでやっていかないと、なかなか人は集まらないと思います。これは尾崎家住宅に限ったことではありませんが、こういった視点も含めて考えていただきたいと思います。</p>
市橋委員	<p>文化財の近くに説明板が必要だと思います。文化財のガイドブックに載っているものでも、現地に説明板が設置されていない所がかなりあります。例えば、松尾神社、小鹿谷の陣屋跡、高辻の子持ち勾玉、小森さんの墓とか、そこにポツンとあるだけで詳しい説明が分かるものはありません。その周辺を歩いていてそこに説明板がないと、それがどういった文化財なのか、住民の皆さんにも知ってもらえません。説明板があるのとないのとでは全然違うと思いますので、ぜひ設置していただくようお願いしたいと思います。それともう一つは、図書館に羽衣石城とか史跡に向けてのコーナーがあれば、本を手にとっていただけるのではないかと思います。</p>
町長	<p>説明板については、何年前にやりかけたことがありませんでしたか。</p>
尾川参事	<p>橋津古墳群とかは、以前、国の補助を受けて整備したことがありました。たくさん文化財があるので一度にはできませんが、計画的に整備していく必要があります。</p>
町長	<p>馬ノ山4号墳も、木々を伐採して前方後円墳とよく分かるようになりましたね。</p>
尾川参事	<p>どこが前方後円墳かとの問い合わせがありました。以前は、近くに行っても木が生えているので分かりにくかったですが、今は風土記館からよく見えるようになりました。</p>
藏本委員	<p>インターネットで馬ノ山古墳と検索したら、ユーチューブで紹介されている動画がありました。それとちょっと視点ははずれますが、以前、宇野の海水浴場に来られた方に、ここをどうして知ったのか聞くと、ほとんどの人はリピーターでしたが、インターネットを見て来たと言われる方が2~3割程度おられました。牡蠣がおいしかったといったような口コミもあり、それを見て来たということです。文化財のホームページにも、楽しい情報を発信していただくようお願い</p>

発言者	内 容
	<p>いしたいと思います。</p>
市橋委員	<p>グーグルマップも十万寺が載っていましたね。</p>
尾川参事	<p>以前は羽衣石城だけでしたね。実は昨年、ユーチューブで山城の動画を配信されている方と連絡が取れ、その映像を使わせていただく許可を得ることができまして、教育長会等で流させていただきました。また、専門の委員さんも全国版の歴史の書物に6ページくらい投稿していただきましたし、イラストレーターの方に鳥瞰図を描いていただくよう依頼し、こちらも全国紙に掲載されました。なお、この著作権（165,000円（税込））は湯梨浜町が所有したいと考えています。それと羽衣石の発掘調査をしていますと、天気がいい日には10人くらいの観光客が登って来られますが、地元よりも県外の方とよく出会います。どこで羽衣石のことを知られたのか聞いてみると、テレビで見たことがあるとのことで、やはりメディアの影響は大きいです。春風亭昇太さんも、横浜でお城関係のイベントがあったときに羽衣石城のことお話していただいたようで、それを聞いて来たといわれる方もおられました。</p>
町長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。一つずつでも実行していきたいと思います。文化財行政については、これで終了したいと思います。</p> <p>まだ時間があるようですので、部活動について皆さんのご意見を聞きたいと思います。文科省は、土日は学校ではなく地域に任せるといふ発想をされていますが、これは働き方改革という側面もありますが、これまで教育として学校でやっていたことをそのまま維持するのか、それを止めて民間に任せるとか、先般、少し方面は違いますが、スポーツ審議会の健康部会で、子どもたちにとってはどちらがよいかといったようなことを言わせていただきました。先生でも部活動をやりたい方がおられるでしょうから、例えばその分の手当を付けてもらうとか、授業時間数を減らすとかで活躍していただけるようにといったこともあるでしょうし、大きな課題としては、都市部にはいろんな施設があるでしょうが、地域には人材も組織もないので、全国町村会としては多少時間をかけてでもしっかり検討してほしいと申しました。</p>
教育長	<p>教育委員の皆さんにも、そういった現状があることはお話しをさせていただいています。</p>
町長	<p>これをやろうとしたとき、大抵「市町村は」と書いてあり、県の教</p>

発言者	内 容
	<p>育委員会はどこまで絡んでいるのだろうかと思います。私は、文科省が県の教育委員会に指示をして、県の教育委員会は県に協議され、そして住民の周知を図りながら進めていくというのが、本来の姿だと思います。いきなり市町村で取り組みと言われても、一般的な議論には進みようがありません。</p>
<p>教育長</p>	<p>以前、スポーツ庁が示していたのは高校を含めてのことで、その際に県は、委員会やプロジェクトチームを立ち上げて協議を行っていましたが、なかなか話は進まないで中学校だけでやっということになりました。国は、令和5年度から実施と言っていますが、鳥取県では今の状況だと無理だと、また、国もこれに係る費用や送迎をどうするかといった通知もないことから、県は関わらないということではないのですが、現段階では拙速を避け、じっくり考えていきたいとのことです。どのようにすれば子どもたちがやりたいことができる体制ができるか、また、一つの町だけの取組では難しいので、中部は1市4町で連携しながら協議を進めていくよう検討しています。</p>
<p>町長</p>	<p>中部地区といっても、部活動を行う場所までの送迎はどうするのかといったことや、指導していただく方の資質も検討しなければならないですね。</p>
<p>教育長</p>	<p>以前、スポ少の指導者の方に聞いてみたのですが、普段は仕事をしているので部活動の時間帯が合わないことや、小学校と中学校ではルールの違いがあるとか、また、体育協会にも聞いてみましたが、定期的に土日に活動することは難しいとのことでした。県からも各協会に話を持ち掛けてみたようですが、どこも対応できないとのことでした。このような状況を考えると、教員に兼務辞令を発令するしかないと思いますが、それでもどれだけの教員が手を挙げてくれるか、また、手当等の費用は誰が負担するのかなどの問題もあります。</p>
<p>町長</p>	<p>どこかに委託するにしても、もし事故があったときはどうするかといったこともあり、なかなか難しい問題だと思います。</p>
<p>藏本委員</p>	<p>先日、新聞に教員の超過勤務の実態についての記事がありましたが、実際は家に持ち帰って仕事をしているなど、働き方改革は進んでいないとのことでした。単純に土日の部活動の負担を減らせばいいのか、どこにメスを入れれば教員が楽になるのか、全ての業務の洗い出しをしてから検討しないといけないと思います。部活動においても、</p>

令和4年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
	無償でもやりたいと言われる先生もおられるかもしれませんが、一律には考えられないなと思います。
教育長	何が一番働き方改革に繋がるのか、何に困っているのかなど、いろんなケースあると思いますので、今後アンケートを取ってみたいと考えています。校長からは、仕事は減っていないし人も増えない状況の中で、勤務時間を減らせと言われても限界があると聞いていますし、また、勤務時間が長い教員はだいたい決まっています。ただ、しっかりと教材研究をしたいので残って仕事したいといったような申し出があったときなど、特に若い教員は力をつけていただきたい時期でもありますので、一律に勤務時間を減らせというのは、そういったやる気を削ぐようなことにもなるので、大変悩ましい問題だと感じています。
町長	貴重なご意見ありがとうございました。これで本日の会は終了したいと思います。皆さんありがとうございました。
午後4時30分終了	